

第3回北見市地域公共交通活性化協議会 議事録（概要）

◎日 時	令和元年7月30日（火）午後2時～3時15分
◎場 所	北見市立中央図書館 多目的視聴覚室
◎出席者	船戸会長、高橋副会長、南保委員、佐藤委員、森川委員、堀井委員（代理）、小谷内委員（代理）、飯沼委員（代理）、菅田委員、小林委員、桑原委員、高木委員、岩元委員、久保田委員、橋爪委員、藤原委員（代理）、高田委員、山田委員、因委員、伊藤委員、田辺委員、須藤委員、飯塚委員 （計23名） 欠席者：佐々木委員 松原委員 （計2名）
◎事務局	山田次長、三浦課長、田村係長、坂本係長、流水主事、中主事
◎傍聴者	2名

1 開 会

2 議 事

会長 議題（1）地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査について事務局より説明。

事務局 地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査について説明《資料1》

- 調査の業務委託について
- 調査の全体像について
- 調査スケジュールについて
- バスICカード非利用者の実態把握調査について
- ICカード非対応路線における調査について
- 市内JR利用実態把握調査
- 目的地別アンケート調査
- バス路線沿線住民の移動実態等調査
- 交通事業者等ヒアリング調査

・・・・・・質疑応答・・・・・・

委員（公安）

- ・高齢者の特性をつかめる調査があれば、知りたい。

事務局

- ・目的地別アンケート調査は、高齢者やマイカー非利用者の傾向を調査するようにしている。
- ・アンケート結果のクロス集計から年代別でも傾向がつかめる。

・また、別の部署等が実施した免許返納や高齢者クラブでのアンケートも関連づけて分析を行う。

委員（ハイヤー組合）

- ・タクシーの利用は、実態を数字に表現するのはなかなか難しい。
- ・買物や通院など、こういった実態調査をするのか教えてほしい

事務局

- ・タクシーの調査は、個人情報もあり、正確な数値について把握は難しいと考えている。
- ・どのような場面でタクシーのニーズがあるのかなどを把握していきたい。

委員（ハイヤー組合）

- ・タクシーはバスと比較して、1台あたりの輸送回数が多いと思う。
- ・公共交通としてJR・バスと同様にタクシーに対する補助金の検討をお願いしたい。
- ・タクシー事業を何とか守っていかなければならない。

委員 運輸支局

- ・市営バスと網走バスの乗降調査は、冬期間の調査はするのか。

事務局

- ・協議会からいただいた年四回程度の乗降調査のデータがあり、夏冬の実態は把握できる。

委員 端野自治区

・端野自治区の路線バスで、路線が重複しているところを、一方だけの路線バスの調査では、地域（端野）の実態が拾えない

事務局

- ・ICカードデータ、年間乗降数からデータ全体像を把握したい。
- ・調査の中で精査して考えていきたい。

委員（公安）

・免許返納について考えるとき、どの様な調査があるか。
・市街地と郊外のほうで温度差があるので、クロス分析で年齢地域別で、その違いを出せれば良いと思う。

委員 観光協会

- ・観光の交通二次交通が極めて大事な問題。
- ・タクシーとバスの利用者の数、路線ニーズの調査のなかで見えてくる事ができるのか。

事務局

- ・JR駅の調査において、一次交通のJRとの接続で、駅が目的地か、また乗り継ぎでどこかへ行くのかも、お時間がいただければ質問して把握したい
- ・通勤・買物。病院という3つの視点に加え、観光の面もあるので、観光協会などからもご意見をいただきながら進めたい。

会長 つぎに（2）「公共交通に関する情報提供」について事務局より説明。

事務局 公共交通に係る情報提供について説明《資料2》

- 地域公共交通の波及効果
- マイカー維持にかかる費用
- 他地域の参考事例
- 運転手確保に向けた取り組み

..... 質疑応答

委員 運輸支局

・他地域の参考事例の紹介があったが、一部運輸局の許可など不備があった事例もあるので、関係行政機関など、あらかじめ相談して進めるようにしてほしい。

委員 ハイヤー組合

- ・北見から女満別空港までの定額タクシー、北見市の事業者は行っていない。
- ・網走は法人1社が空港間を予約制、定額制で行っている。
- ・アプリやカード決済など新しい仕組みが出来てきているが、なにがいい方法なのか、検討が必要。

委員 バス会社

- ・今年度初めて北見市で合同の就職説明会体験会おこないます。
- ・当社に共通の機会が増えるので、運転手確保の部分では期待しております。

会長 最後に高橋副会長からお願いします。

高橋副会長

- ・計画策定までかなり、タイトなスケジュールであり、既存の調査、免許返納やパーソントリップ調査などを有効かつ有機的に使いながらこの調査を進行していかなければならない。
 - ・パーソントリップ調査からわかることでは、65歳以上の高齢者を取り上げて分析すると、トリップ長は、家から目的地まで10分位。短い時間の中で高齢者は移動している。
 - ・車を持ってる人と持っていない人で外出回数も違います。
 - ・関係機関からのデータ提供のご協力をお願いします。これが1点目です。
- ・委員の方は交通の専門的な関係の方ですので、調査前の段階でもある程度の課題は見えていると思います。
- ・事務局サイドとしても皆さんと相談して、どんなことをしたいのかを前提として、全国的に進められている取り組みを、サンプル調査を前提にしてある程度反応を見るようなものをこの中で企画してもらいたい。これが2点目です。
- ・金沢のMM（モビリティマネジメント）の全国会議から、3つ大切なこと。1つは皆さんにビジョンを見せて共有すること、2つめはビジョンをもとに戦略を立てること、3つめは、さらに実験をすること。実験をして失敗をしたら、直していきながら、みんなできっちり決めていかなければならない。この3つが大切であると伺ってきました。
- ・ビジョンの方は、総合計画や都市計画マスタープランで示されている。
 - ・網形成計画という戦略をどう立てるかということが大事で、その戦略を立ててから1年ではうまくいきませんので、少しずつ実験し、あらたに試みる。その結果、どうやって仕組みとか条例に反映するのか。
 - ・網形成計画と言うのは行政と利用者と事業者のある意味、誓約書であるといわれている。
 - ・みんなでこれをやろうと決めたら皆でやるもので、短期間の中で皆さんの協力を得ながら作っていきたいというふうに思います。そのために大学としても協力させていただきたい。
 - ・ぜひ戦略を、球出しを、きっちりできるような、網形成計画にしたいというふうに思っております。

3 その他

事務局 次の協議会開催は、9月頃を予定しております。

4 閉会